



ひろげよう! まちづくりの輪 ~手と手をつなぐ大家族リレー~



まちづくり協議会で汗を流す方の、まちづくりへの参画のきっかけ、想いなどを紹介します。

吉浜まち協 内藤 尚仁さんからバトンタッチ!

○ 翼まち協 竹内 一仁 さん(評議委員)



▲竹内一仁さん

◆翼まち協では、若い世代のまちづくりへの参画が活発ですよ。

私がまちづくりに関わるきっかけになったのは、翼小PTA・OBを中心に組織された飛翔(つばさ)の会のふれあい行事に参加したとき、子どもが「お父さん、楽しそうだったね!」と、笑顔でうれしそうに言った一言でした。それまでは仕事人間で地域のボランティアなどしたこともなく、まちづくりに全くの無関心だった私でしたが、その後にPTA会長を務め、今も親子・親同士のふれあい行事に参画したり、翼まち協の活動に携わっています。こうした若い世代が中心となった活動の基盤があるので、翼まち協では、若い人の参画が活発なんですよ。



▲防犯・防災運動会(翼まち協)

翼小学校区は、他市、他県から来た方が多い新興住宅地で、隣同士でも仕事が異なる大人同士は交流が少ないことから、子どもを中心にもっと多くの若い世代のお父さんにまちづくりに参画してもらい、子どもといっしょに楽しんでもらいたいですね。

◆竹内さんの「こんなまちにしていきたいな」を教えてください!

子どもとの関わりの中で親同士や地域の皆さんが自然と集まるしくみ、先輩・年配の親から、親業を学ぶネットワークができるといいですね。私も以前そうだったのですが、具体的に何をしたいのかよく分からないという人が多いと思います。そういった方は、まずは地域のふれあい行事に参加し、子どもと楽しんでみてください。そして周りにいる大人同士、他愛もない会話をしてみてください。きっと何かを得られるきっかけになると思います。



▲翼テント村(飛翔の会)

特派員2期生 任期の最終年度を迎え… 翼まち協特派員からのメッセージ

■木村忠好チーフ 1期は創造期、2期は定着期であったと感じます。2期の3年間は、まち協事業が安定的・継続的に進みました。そして、3期は発展期の予感。今後も、翼まち協のますますの発展に期待して、特派員経験者として、ともに考え、サポートしていきたいと思います。

■大村智康特派員 まち協の方たちは、自分たちが住むまちを何とかしたいという想いが強く、さまざまな課題に対応した事業に取り組んでいます。外見は怖そうですが、気さくな方たちなので、ぜひ、皆さんもまち協事業に気軽に参加してください。

■榊原雅彦特派員 今まであまり関わりがなかった地区でしたが、まち協の皆さんといっしょに活動できたことは貴重な財産です。どんどん活動の輪が広がって、より多くの皆さんとまち協を共有できるよういっしょにがんばりましょう。

■高須春奈特派員 特派員として翼まち協の皆さんと関わることで、さまざまな考え方の「まちのために何かしたい!」という想いを持った皆さんと知り合いになりました。こうした皆さんの想いを大切にしながら、今後も取り組んでいきたいです。



▲右から大村智康特派員、木村忠好チーフ、榊原雅彦特派員、高須春奈特派員

※まち協特派員…行政職員の所属部署に関係なく、チーフ1人(管理職)を含む4人の特派員により、小学校区ごとにチームを編成し、まちづくり協議会の会合への出席や活動のサポートなどを行います。